

年 100 億円の人工島事業をやめ

## くらし応援に回せば地域経済も元気に 住宅リフォーム助成を



埋立で土地を造りそれを売って回収する——そのはずだった人工島事業は企業がまったく来ず破たんしています。毎年百億円のお金が空しく投じられてきました。

こんな浪費をやめ、そのお金で、国保料の引き下げなどくらしを直接応援すれば、内需はふえ、税収ものびます。

共産党市議団は、地元業者に住宅のリ

フォームを発注したら、その1割を助成する秋田県の制度を調査しましたが、25倍もの経済効果がありました。私も市議会で条例提案し、実現まであと一步です。

待機者をなくすために保育園や特養老人ホームをふやせば地元業者の仕事が生まれ、雇用もふえ、地元でお金が回ります。

**特養ホームや保育園づくり  
雇用や仕事をふやします**

## ご存知ですか 早良区選出市議の賛成と反対 人工島やこども病院人工島移転に賛成の自民・公明・民主

「人工島に税金をつぎ込むのはやめて」「こども病院移転は市民の声を聞いて」——他党の市議はこうした市民の願いにどんな態度をとっているのでしょうか。民主党は前市政の与党として人工島事業やこども病院の人工島移転を推進。人工島移転を問う住民投票条例にも「有権者は専門的知識が少ない」と反対しました。

自民党・公明党・みらい福岡は人工島事業を止めるどころか、「積極的に推進すべき」（自民）、「一刻も早く土地の活用を」（公明）などと推進の旗ふりをつとめてきました。こども病院についても、人工島移転計画を見直さないよう、市民とは逆の立場で“熱心に”質問してきたのがこれらの会派です。



## 早良区になくてもならない 中山いくみ

早良区にこんなに議員がいても、破たんした人工島事業にきっぱり反対し、同事業に使っていた税金を市民のくらし応援に使うことや、こども病院の現地建て替えを主張しているのは、日本共産党の中山いくみ市議だけです。

